

シュローダー・スナップショット

マルチアセット・ビュー グローバル市場見通し

2024年10月

見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）

強気の見通しを維持しています。引き続き「ソフトランディング」をベースシナリオとして想定するほか、主要中央銀行による金融緩和も支援材料になると考えます。

弱気の見通しを維持しています。米国債券については、利下げを巡り楽観的な見方が織り込まれていると考えます。ただし、バリュエーションの割高感緩和は緩和したと考えます。

見通しを強気に引き上げ、特に欧州ハイイールド債券に妙味があると考えます。キャリアやバリュエーション水準が魅力的であることに加え、欧州地域のインフレ減速を好感しています。

全体として中立の見通しを維持しています。多くのコモディティ市場で、供給は十分な水準にあると考えます。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	賃金やGDPに関する米国経済指標は堅調であるほか、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和も追い風になると考え、強気の見通しを維持しています。
	欧州	一部の先行指標は低迷していますが、欧州インフレは減速基調を維持していることから欧州中央銀行（ECB）が追加利下げを実施する余地があるとみて、中立の見通しを維持しています。
	日本	ファンダメンタルズは堅調であるものの、政治動向からボラティリティが高まる局面があると考え、中立の見通しを維持しています。
	アジア（除く日本）	中国当局による金融緩和政策を好感し、中国株式に対する見通しを強気に引き上げました。ただし、中国経済を刺激するためには、追加の財政出動が必要であると考えます。また、中国以外については中立の見通しとします。
	新興国	先進国株式と比べて魅力的なバリュエーションを提供しているほか、企業収益も堅調です。また、中国の景気刺激策に対する期待感から、上昇が継続する可能性があるとみて、見通しを強気に引き上げました。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Schroders

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 最新の雇用統計の発表などを受けて先月の低水準から利回りは上昇し、バリュエーションの割高感は一時的に緩和されました。ただし、見通しを引き上げるには至っておらず、弱気の見通しを維持しています。
	欧州	 欧州経済が低迷していることや欧州インフレが減速していることを踏まえると、ECBは利下げを進展する余地があると考えます。全体としては中立としますが、イタリアやフランス等への選好姿勢を強めています。
	新興国 (現地通貨建て)	 魅力的なバリュエーションを提供しているようにみえますが、スプレッドの拡大は財政懸念がある少数の国によるものです。これらの国によるボラティリティや個別リスクを懸念し、中立の見通しを維持しています。
	米国インフレ 連動債	 経済成長や消費は堅調を維持していますが、インフレ圧力は緩和が続くとみており、中立の見通しを維持しています。
投資適格社債	米国	 9月のFRBによる大幅利下げから恩恵を受けると考える一方、バリュエーションの水準は割高であることから、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 欧州のインフレ減速や景気低迷により、ECBが金融緩和を進展させる可能性があることを好感しています。ただし、欧州ハイイールド社債がより魅力的であるとみて、欧州投資適格社債については中立の見通しとしています。
	新興国 (米ドル建て)	 中国市場に対するセンチメントが改善しましたが、既に新興国社債市場のスプレッドは低水準にあるため、中立の見通しを維持しています。
ハイイールド社債	米国	 米国投資適格社債市場と同様に、FRBの利下げから恩恵を受けると考えますが、スプレッドは低水準にあることを踏まえ、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 キャリー水準、米国ハイイールド社債対比でのスプレッド水準、ECBによる追加利下げの可能性等を踏まえると、クレジット資産の中で最も魅力的な投資機会を提供していると判断し、見通しを強気に引き上げました。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

資産クラス	分類	見通し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 供給は依然として十分な水準にあるほか、中国当局による景気刺激策の発表により中国からの需要が好転する可能性は低いとみて、中立の見通しを維持しています。
	金	 金相場の上昇が続いていたことに加え、中国株式に対するセンチメントが改善したことで中国家計による金需要が減退する可能性を考慮し、見通しを中立に引き下げました。
	産業用金属	 これまでに公表された中国当局による景気刺激策は、産業用金属需要に対する効果が少ないと考えるほか、世界的に需給バランスが安定していることを踏まえ、中立の見通しを維持しています。

資産クラス	分類	見通し
通貨	米ドル	 FRBが金融緩和サイクルを開始したことでキャリー水準の妙味が薄れました。中立の見通しを維持しています。
	ユーロ	 欧州のインフレ減速、ECBの追加利下げの可能性を踏まえ、見通しを弱気に引き下げました。
	日本円	 内閣総理大臣の交代に伴い、政策方針を見極めるため、見通しを中立に引き下げました。

本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

出所：シュローダー。社債に関する見通しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見通しとなります。

【本資料に関するご留意事項】 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュローダー/Schrodersとは、シュローダー-plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。



創業から200年超、日本に根ざして50年。
 卓越した資産運用サービスをお届けするため、
 私たちの視線が向かうのは、いつもひとつ先の未来。
 今また新たな投資機会の発掘に向け、
 シュローダーは動き出しています。